

# 山本よしかず県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

## 輸送改善 JRに働きかけを

「信義を持って県政に」と、今年始めの補欠選挙で颯爽と県議会に登場した山本義一(やまもと・よしかず)県議は、八街市ひいては千葉県の発展を目指して、東奔西走の議員活動を繰り広げています。ふるさと八街市の交通機関充実を公約に掲げる山本議員は、9

### 八街市特集

月県議会では早くも2回目の一般質問に立ち、JR総武線八街駅の東口開設へ向けての働きかけを県担当者に強く要望しました。また、街の活性化へ商店街を元気にする施策を県に質しました。山本議員の質疑と森田知事らの答弁を特集します

# 総武本線の複線化 成東発快速の増発 八街駅東口の開設

### 9月県議会一般質問



9月県議会一般質問を行なう山本義一県議

山本議員 JR総武本線は、佐倉駅から東側が単線であるため、運転本数が少なくなる。佐倉駅から東側を複線化することや、成東発上り快速列車の増発などの輸送改善について、JR東日本に対し、今後どのように働きかけをしていくのか。

知事 JR総武本線の佐倉・銚子間の複線化や快速列車増発などを含めた輸送改善については、従来から、県と沿線市町村などで組織する「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」を通じて、JR東日本に対し、要望活動を行なってきたところです。

その結果、普通列車の五両から八両編成への増強や普通最終列車の運行区間の延伸など一部改善が図られています。また、複線化や快速列車の増発については、JR東日本から、利用者が減少する中で多額の設備投資が必要であるため、実現は難しいと聞いています。

しかしながら、総武本線の輸送改善は、利用者の利便性向上や地域の活性化につながることから、県とい

たしまして、今後とも、沿線市町と十分連携を図りながら、期成同盟を通じてJR東日本に対し、積極的に働きかけてまいりたいと考えております。

山本議員 八街市の都市副次核として土地利用を進める八街駅周辺は、新しい住宅街地の顔にふさわしい都市機能を備える街づくりがうたわれている。その八街駅の利便性向上を図るために、東口の開設についてJR東日本に働きかけるべきと思うがどうか。

総合企画部長 「千葉県JR線複線化等促進期成同盟」では、平成十三年度からJR東日本に対し、JR八街駅の東側改札口の増設について、要望活動を行なってきました。

しかしながら、JR東日本からは、駅の改札口については、駅の新設時に複数設置した場合を除き、原則として一駅に対して一改札口としていると聞いています。ただし、改札口増設を要望する地元自治体などが改札口設置のための施設整備費や運営費などを負担する場合は、例外的に増設する

## 高速バス“発車” 八街駅と東京駅を直結

八街と東京都心を直結する高速バスが運行を開始しました。これまで、八街市には都心へ直行できる高速バスがありませんでしたが、今回の運行で、八街市民の足の便がまた一つ、便利になりました。

山本議員がかねてから、京成バスグループに要望していたもので、八街駅と東京駅八重洲口を、高速道路を利用して二時間余りで結びます。千葉フラワーバスの専用バスはリクライニング座席でゆっくりと移動が出来ます。

平日で上り二本、下り三本運行します。料金は大人千三百円(小児六百五十円)。なによりも、電車と違って乗り換えのわずらわしさが無いのが魅力です。

### 保育所整備へ 補助継続必要

山本議員 安心子ども基金による保育所の整備状況はどうか。

健康福祉部長 平成二十二年度は八月末現在で、二十市町村五十三カ所、定員約二千七百名分の整備を予定しています。このことにより、基金期限内の二年間で約三千九百名の保育所定員増を見込んでいます。

山本議員 今後にも安心して、県として安心ことも基金の延長など、保育所整備に対する補助が継続されるように、国に対して要望するよう要望します。

●千葉県や八街市のご意見、ご要望をお聞かせください

山本よしかず 県議事務所  
〒289-1135 八街市小谷流459  
TEL.043(445)5160  
FAX.043(445)0567

# 活性化へ欠かせぬ県の支援

## 頑張る商店街に



自席で再質問を行なう山本義一県議

山本議員 商店街は身近な買い物場として地域住民の暮らしを支えるとともに、地域コミュニティや祭り、地域行事など地域の歴史・文化の担い手であるが、空き店舗やシャッター街が目立ち、非常に厳しい状況に置かれている。その活性化は重要な課題であると認識している。

店街の元気がなくなるといふ悪循環に陥ってしまう。商店街の皆さんも知恵を出し、汗を流して商店街を元気にしよう頑張っているが、厳しい経済情勢の中で自力では限界があり、ぜひとも行政の支援が必要。

知事 身近な買い物場であり、「まちの顔」でもある商店街の活性化には、「商店街と地域の連携による情報発信や環境整備」やる気と新たな時代感覚を持ったリーダーの育成が重要なものと認識しています。

そこで県では、商店街が集客のために地元市町村と連携して行なう「空き店舗の子ども広場やギャラリーなどへの活用」情報発信のためのイベントやガイドブック

の活用」などの事業に対し助成するとともに、若手商業者、後継者などを対象に「ふたの国商い未来塾」を開催し、将来を担うリーダーの育成に努めているところ。

今後とも商店街の皆さんや地元市町村の意見を聞きながら、一緒になって地域の特色ある商店街の活性化に積極的に努めています。

私の小学校時代、昭和三十年代になりますが、商店街に行く、おいしいもの、珍しいオモチャなどがあつ

て心がワクワクしたものです。ところが最近は大変残念なことに、シャッターが増えています。

国会議員時代、大田区ですが、同じような悩みがありました。東京の中には盛り上がりつつある商店街もあると聞いて、視察に行きました。そこでいろいろうかがったら、ピンチだからこそチャンスだと、その商店街のみで使えるスタンプや割引や地域のイベントを考

え、前向きにやってみれば必ず陽が当たるんだという思いでやってきたと言っています。これが一つのことなのかと思います。

県といたしましても、出来る限り一生懸命やらせていただきます。

山本議員 産出額全国第二位にランクされる本県農業の維持・発展のためには、主力である野菜・落花生などの農産物の生産対策が重要だが、どのように取り組んでいるのか。

農林水産部長 本県農業の維持・発展を図るためには、品質の高い農産物を、安定的に、低コストで生産する産地の育成が、重要であると考えております。

このため、特に野菜では、生産性向上を図るためにビニールハウスなどの施設化や、老朽化した温室のリフォーム、路地野菜の「植え付け」や「収穫」などの機械の導入に対して、重点的に支援しています。

また、落花生については、作柄安定や品質向上のため、生育状況の調査や優良種子の生産を推進するとともに、省力化のため、「種まき」や「掘り取り」などの機械化に向けた取り組みに努めているところです。

今後とも、本県農業が持続的に発展していけるよう、野菜・落花生などの農産物の生産対策に、積極的に取り組んでまいります。

山本議員 野菜・落花生などの農産物の販売促進対策に、どのように取り組んでいるのか。

### 障害者グループホーム

#### 建築基準法 厳しい規制

山本議員 障害者グループホームについて、建築基準法上、寄宿舎などの扱いとされ、基準が厳しくなっているが、より柔軟な対応ができないのか。

健康福祉部長 障害のある方が地域で暮らしていくためには、障害者グループホームの果たす役割は大きく、本県でも引き続き、そ

の数を増やしていく必要があると思います。

一方、障害者グループホームの設置に当たっては、建築基準法上、寄宿舎等として扱われ、寝室などの壁を準耐火構造とすることに伴う事業者の費用負担などの課題が認められます。

そのために、県では既存の戸建て住宅を転用する場

### 農・工・商連携で 創造的発展を

# 山本よしかず 県議

八街市特集 9月県議会一般質問

山本議員 二階以上かつ二百平方メートル未満の小規模な既存戸建て住宅のグループホームへの転用については、基準の厳しい寄宿舎などの取り扱いではなく、住宅として取り扱うよう要望する。

山本議員 八街市では様々な機会に地元産品のPRを行なっております。知事には地元産品のPRにお力添えをぜひともいただきたい。